

令和元年9月

医療関係者各位

株式会社 陽進堂

「使用上の注意」改訂のお知らせ

抗菌性化学療法剤

ピペミド酸錠 250mg 「YD」

(ピペミド酸水和物錠)

今般、令和元年9月24日付 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知および自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。(下線部分が変更箇所です。__：薬生安指示、__：自主改訂)

なお、このたびの改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数を要すると思われるので、ご使用に際しましては、ここにご案内申し上げました改訂内容をご参照賜りますようお願い申し上げます。

記

改訂後			改訂前 (____部削除)														
【使用上の注意】 1. 慎重投与 (1) 変更なし (5) 高齢者 <u>「腱障害があらわれやすいとの報告がある。」</u> (「高齢者への投与」の項参照)			【使用上の注意】 1. 慎重投与 (1) 省略 (5) 高齢者(「高齢者への投与」の項参照)														
3. 相互作用 本剤はCYP1A2の阻害作用を有する。 併用注意 (併用に注意すること)			3. 相互作用 本剤はCYP1A2の阻害作用を有する。 併用注意 (併用に注意すること)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テオフィリン アミノフィリン 水和物 コリンテオフィリン</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td><u>副腎皮質ホルモン剤(経口剤及び注射剤)</u> プレドニゾロン ヒドロコルチゾン等</td> <td><u>腱障害のリスクが増大するとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。</u></td> <td>機序不明</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	テオフィリン アミノフィリン 水和物 コリンテオフィリン	変更なし		<u>副腎皮質ホルモン剤(経口剤及び注射剤)</u> プレドニゾロン ヒドロコルチゾン等	<u>腱障害のリスクが増大するとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。</u>	機序不明	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テオフィリン アミノフィリン 水和物 コリンテオフィリン</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">省略</td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	テオフィリン アミノフィリン 水和物 コリンテオフィリン	省略	
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子															
テオフィリン アミノフィリン 水和物 コリンテオフィリン	変更なし																
<u>副腎皮質ホルモン剤(経口剤及び注射剤)</u> プレドニゾロン ヒドロコルチゾン等	<u>腱障害のリスクが増大するとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。</u>	機序不明															
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子															
テオフィリン アミノフィリン 水和物 コリンテオフィリン	省略																

改訂後	改訂前（ <u> </u> 部削除）												
<p>3. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>(1) 重大な副作用 1)～2) 変更なし</p> <p>3) アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害（いずれも頻度不明） <u>アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害があらわれることがあるので、腱周辺の痛み、浮腫、発赤等の症状が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u></p> <p>4) 精神症状（頻度不明） <u>抑うつ、幻覚等の精神症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u></p> <p>(2) 重大な副作用（類薬） 急性腎障害 類似化合物（ピロミド酸）で、<u>急性腎障害があらわれると</u>の報告がある。</p> <p>(3) その他の副作用</p> <table border="1" data-bbox="103 1167 775 1330"> <tr> <td></td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>精神神経系</td> <td>痙攣^{注3)}、めまい、頭痛、頭重、全身倦怠感、しびれ感</td> </tr> </table>		頻度不明		変更なし	精神神経系	痙攣 ^{注3)} 、めまい、頭痛、頭重、全身倦怠感、しびれ感	<p>3. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>(1) 重大な副作用 1)～2) 省略</p> <p>(2) 重大な副作用（類薬） 急性腎不全 類似化合物（ピロミド酸）で、<u>急性腎不全があらわれると</u>の報告がある。</p> <p>(3) その他の副作用</p> <table border="1" data-bbox="820 1167 1492 1330"> <tr> <td></td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>精神神経系</td> <td>痙攣^{注3)}、めまい、頭痛、頭重、全身倦怠感</td> </tr> </table>		頻度不明		省略	精神神経系	痙攣 ^{注3)} 、めまい、頭痛、頭重、全身倦怠感
	頻度不明												
	変更なし												
精神神経系	痙攣 ^{注3)} 、めまい、頭痛、頭重、全身倦怠感、しびれ感												
	頻度不明												
	省略												
精神神経系	痙攣 ^{注3)} 、めまい、頭痛、頭重、全身倦怠感												

〈使用上の注意の改訂理由〉

- ・「重大な副作用」の項にアキレス腱炎、腱断裂等の腱障害、精神症状を追記
フルオロキノロン系及びキノロン系抗菌薬の機能障害や永続する可能性のある副作用（腱や精神、神経に関連した副作用）に関して、アメリカ及びEUの添付文書が改訂されたことを受け、厚生労働省及びPMDAにおいて本剤による「末梢神経障害、腱障害、精神症状」のリスク情報が評価されました。
腱障害についてはコラーゲン組織の障害、精神症状についてはGABA神経の抑制等が発現機序として考えられることから、令和元年9月24日付 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知に基づき、追記して注意喚起することと致しました。
- ・「慎重投与」の項に高齢者において腱障害があらわれやすい旨を追記
- ・「相互作用」の「併用注意」の項に「副腎皮質ホルモン剤（経口剤及び注射剤）」を追記
前述の「腱障害」のリスクを評価していく中で記載が検討され、追記して注意喚起することと致しました。
- ・「その他の副作用」の項にしびれ感を追記
副作用情報の集積に伴い、追記して注意喚起することと致しました。
- ・「急性腎不全」を「急性腎障害」に記載整備
従来、添付文書で使用されてきた「急性腎不全」の用語について、最近の知見に基づき「急性腎障害」に変更されたため、記載を整備致しました。（医薬品・医療機器等安全性情報No. 341 P16-17に基づく）

〈参考〉

DSU No. 283 (2019年10月発行)掲載予定

スマートフォン・タブレット版のDSUも公開されます。<https://dsu-system.jp/Web>

改訂添付文書情報につきましては、陽進堂ホームページの医療関係者様向けサイト (<http://www.yoshindo.co.jp/>) 及び総合機構のホームページ「医薬品に関する情報」 (<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)にも掲載しております。

なお、PMDAによる医薬品医療機器情報配信サービス「PMDA メディナビ」にご登録頂きますと、医薬品の重要な安全性情報がタイムリーにメール配信されます。

(<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0007.html>)

お問い合わせは、担当MR又は弊社医薬営業本部までご連絡ください。

株陽進堂 医薬営業本部 ☎ 0120-647-734

以 上